

刃長 774 mm 反り 24 mm 元幅 28.4 (30.1) mm 元重 6.4 mm 鎬重 7.0 mm 先幅 16.0 (17.0) mm 先重 3.0 mm 先鎬重 3.6 mm

鎬造り、庵棟、腰反り深く踏ん張りつき、先、伏しころに小切先で結ぶ。鍛えは小板目に歪交え精良、地沸つき、幽かに乱れ映りが立つ。刃文は大きな腰刃を焼き、その上を直ぐ調の小乱れに小丁子を交じえ、刃淵に小沸厚く付き、金筋・砂流し頻りに掛かり、上半は匂い出来の直丁子に小互の目を交え、足よく入る。帽子、直ぐに先小丸となり三作風。茎、雉腿に仕立てられ、先栗尻、鐔目勝手下り、茎棟僅かに肉、刃方角。下孔は両側から穿ち鼓形。

第62回重要刀剣指定

縮小率40%

